

モノオト

症候群

シンボリズム

第拾貳年漆月陸日
貳千参号

6月22日サテライトプラスLIVE!

at 浜松町 文化放送広場 w/ イダセイコ



平日の浜松町 17:00、文化放送前の広場に
アンプやスピーカーなどがセッティングされていた。

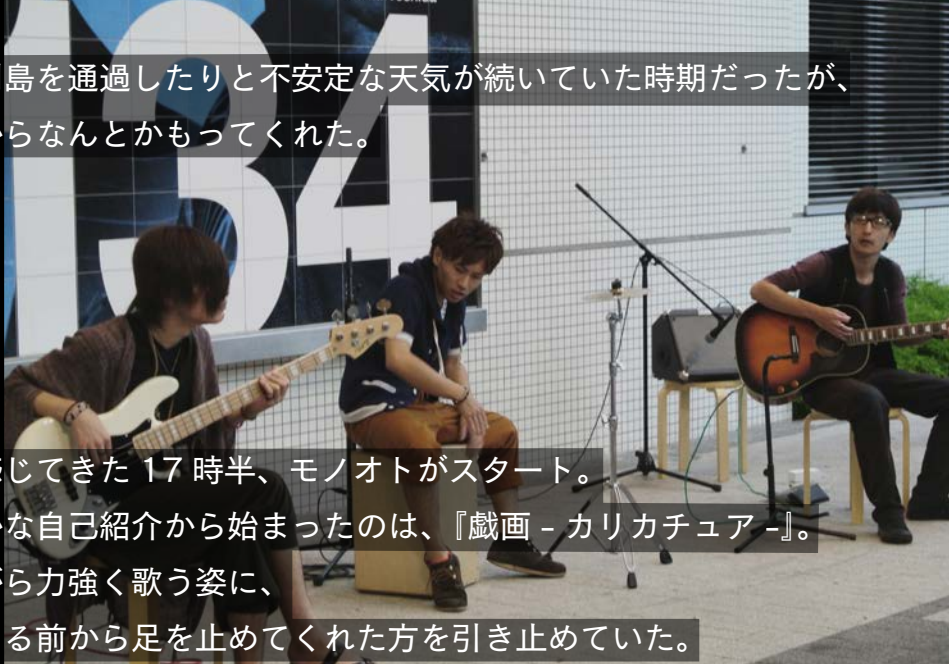
月に数回(不定期)様々な形態のアーティストが
アコースティックライブを催している『サテライトプラスLIVE!』。
この日のラインナップは、女性シンガーソングライターのイダセイコと、
モノオトの2組。

形式が異なるこの2組の共通点は、細かいところでは
どちらも裸足で歌うこと。

今号ではそこでのライブレポートをお送りする。

 Live Report

台風が日本列島を通過したりと不安定な天気が続いていた時期だったが、当日は日中からなんとかもってくれた。



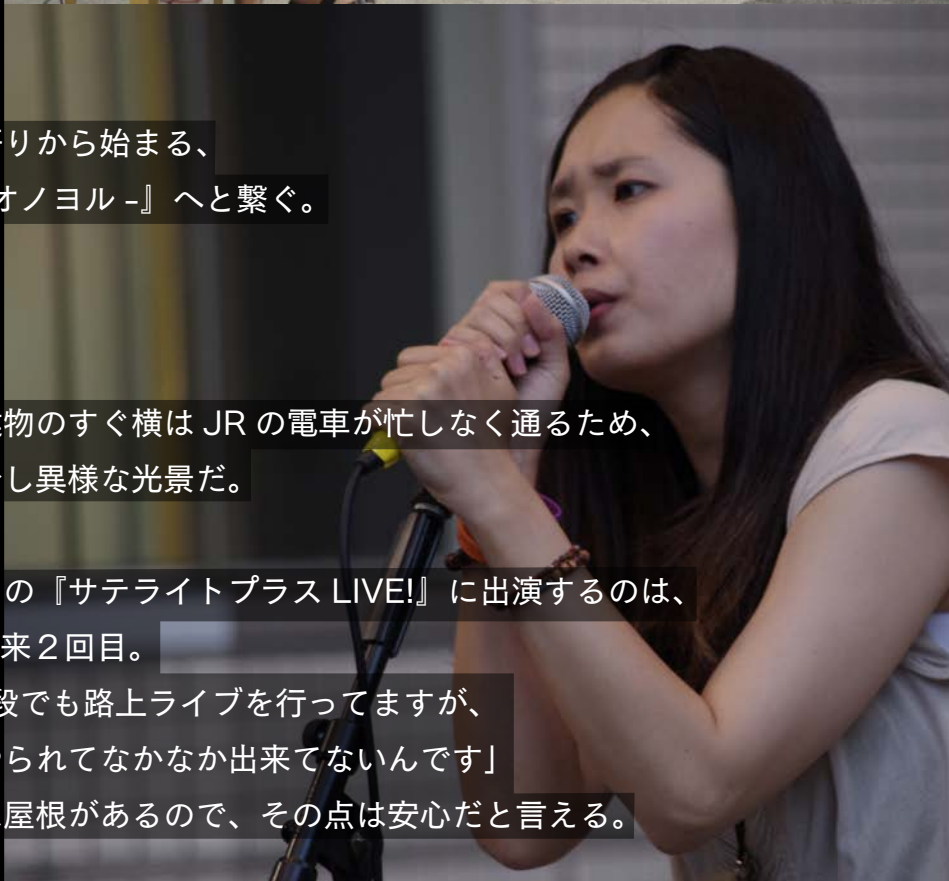
少し肌寒く感じてきた 17 時半、モノオトがスタート。ゆりえの静かな自己紹介から始まったのは、『戯画 - カリカチュア -』。しっとりながら力強く歌う姿に、ライブが始まる前から足を止めてくれた方を引き止めていた。

その後に、語りから始まる、『藍ノ夜 - アオノヨル -』へと繋ぐ。

文化放送の建物のすぐ横は JR の電車が忙しく通るため、ライブ中は少し異様な光景だ。

モノオトがこの『サテライトプラス LIVE!』に出演するのは、昨年 12 月以来 2 回目。

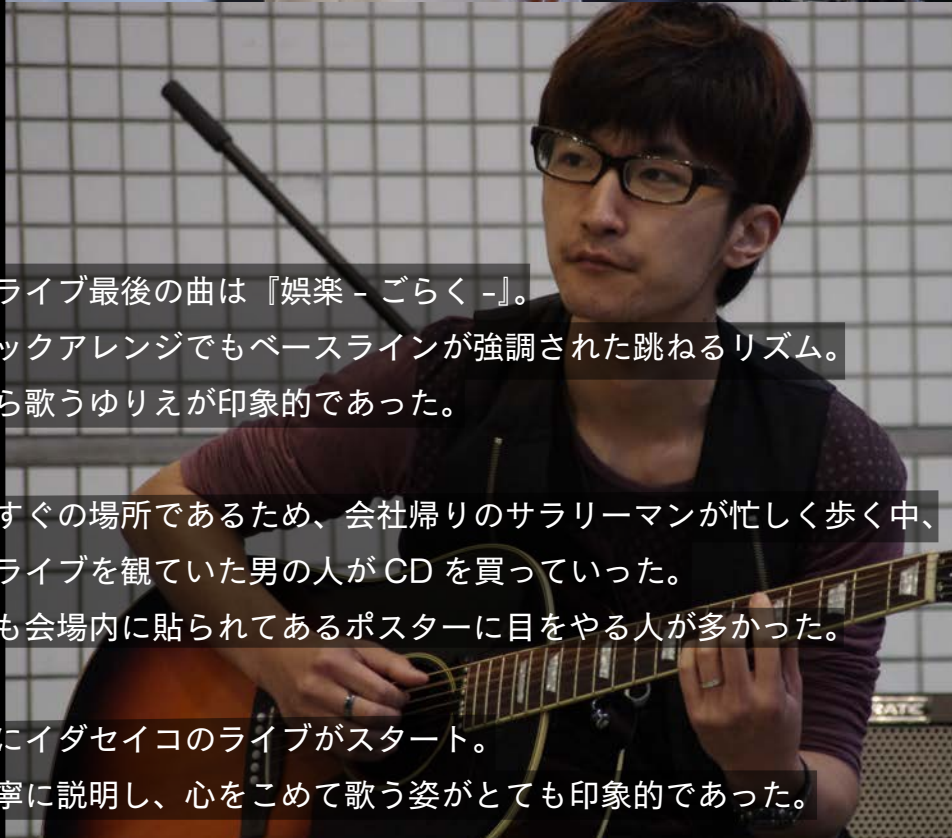
「私たちは普段でも路上ライブを行っていますが、最近では雨にやられてなかなか出来てないんです」今回の会場は屋根があるので、その点は安心だと言える。





アコースティック映えする『夢現 - ゆめうつつ -』が終わり、拍手から間髪入れず始まったのは『朧月 - おぼろづき -』。モノオトを知らない人を引き込むには最もアピールできるこの曲は、終わった後この日のライブでいちばんの拍手が起こった。

「今日は『モノオト』というバンド名だけでも、いや、名前だけとは言わず曲も覚えて帰ってください（笑）」



この日1回目ライブ最後の曲は『娯楽 - ごらく -』。アコースティックアレンジでもベースラインが強調された跳ねるリズム。少し踊りながら歌うゆりえが印象的であった。

浜松町駅からすぐの場所であるため、会社帰りのサラリーマンが忙しく歩く中、立ち止まってライブを観ていた男の人がCDを買っていった。また、転換中も会場内に貼られてあるポスターに目をやる人が多かった。

モノオトの次にイダセイコのライブがスタート。1曲1曲を丁寧に説明し、心をこめて歌う姿がとても印象的であった。

18時40分、1回目と比べてより肌寒くなった頃、モノオト2回目のライブがスタートした。

1曲目は『朧月 - おぼろづき -』。

初回時よりも少し力強く演奏しているように感じた。

外国人の方が家族で足を止めてくれたりと、

時間が経つにつれ始まった頃よりも様々な年代の方が集まってくれていた。

モノオトらしい遊び心溢れるアレンジが特徴の

『金魚 - きんぎょ -』の後に演奏されたのは、『模様 - もよう -』。

「次の曲は皆さんに手拍子をしてほしいんですが、皆さん準備はいいですか？」

ゆりえの煽りもあり、ゆったりしたテンポに手拍子が起こるこの曲の間は、


会場にもものすごく温かな空気が流れていた。

《笑顔にさせた》というフレーズの時に笑顔になるゆりえ。

つられて康平も笑顔になっていた。

途中アカペラになる場面では、前で観てくれていた若い方や、

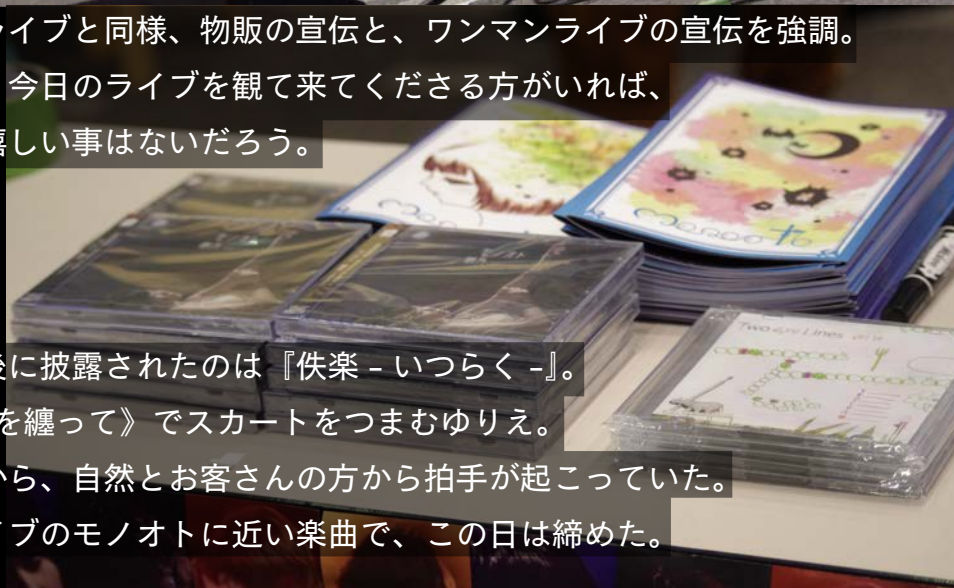
座って観ていた中年の男性も一緒に手拍子をしていた。



「だいぶいい感じに日が暮れてきたので、この曲を…」
次に演奏されたのは『落陽 -らくよう-』。
まさにその時間帯にすごくあった。

普段のライブでは定番の『夜半 -よわ-』は、
原曲とは打って変わるバラード調のアレンジ。
全く別の表情を出す。

1回目のライブと同様、物販の宣伝と、ワンマンライブの宣伝を強調。
もちろん、今日のライブを観て来てくださる方がいれば、
こんなに嬉しい事はないだろう。



この日最後に披露されたのは『侏楽 -いつらく-』。
《継ぎ接ぎを纏って》でスカートをつまむゆりえ。
曲の途中から、自然とお客さんの方から拍手が起こっていた。
普段のライブのモノオトに近い楽曲で、この日は締めた。




「ありがとうございました」

2回目のライブを終える頃には、辺りはすっかり暗くなっていた。
イダセイコのライブ中、モノオトの物販ブースには会社帰りのサラリーマンや
女子高生2人組がCDを買い求めていた。

路上ライブはゲリラ的であり、
観てくれる方はバンドのことを全く知らない人。
そういうお客さんをどうやって
モノオトの世界に取り込んでいけるかが大事だと感じた。
という意味で、

今回は文化放送の場所を会場としてすることでライブがやりやすく、
非常に大きな経験になったと思う。



今後の路上でのライブが
更に良くなることと、
夏の間はどうか天候に恵まれることを祈って。

RECORD

第二弾

レコーディングに潜入

6/25 ギター録り



本日は剛志の出番です！

ギターの弦を張り替え準備万端でレコーディングブースへ。

メンバーと相談をしながらも剛志の真剣に演奏する姿を見て、緊張感が走りました。

剛志のレコーディング中、康平はワンマンライブに向けて物販や演出を試行錯誤。

普段のモノオトのライブとはひと味違うライブになること間違い無し！お楽しみに♪

INFO モノオト 2nd ワンマンライブ開催

藍糸ーアオイトー ～月涼し 星天に捧ぐ逢いの宴～

7月6日(金) @ 吉祥寺SHUFFLE OPEN 18:30/START 19:00





著作権について

この雑誌「モノオトシンドローム」の著作権はモノオトが保有しております。本誌を閲覧されるお客様は、個人的に利用される場合に限り、公衆回線／専用回線を通して、本誌をお客様の端末に表示すること、複製保存することが認められております。

下記の行為は、著作権及び著作者人格権侵害となるため、禁止します。

- (1) 本誌 PDF データの全部または一部を修正、変更、翻案、編集、切除等、改変する行為
- (2) 本誌 PDF データの全部または一部を解析したり、派生物を制作する行為
- (3) 本誌 PDF データを第三者に複製、複写、頒布、貸与、譲渡、自動公衆送信する行為